

※ 網掛けのテーマは、人権に関わる研修

科目	対象 職務段階	募集人員	実施 時期	研修テーマ	概 要	
福祉サービスの倫理と基本理念	管理者	100	7月	福祉・介護サービスの理念とそれに携わる者の倫理 福祉・介護サービス従事者に求められる職業倫理 利用者本位の福祉・介護サービス	高い倫理性に支えられた、利用者本位のサービス提供を実現するため、福祉・介護サービスの理念を日常のサービス提供現場に反映し、運営環境を整えていく方法等について考える。	
		100	9月	<共同開催> 地域包括ケアシステムの現状 ～地域における連携・協同の実際～（検討中）		
		100	10月	高齢者、障がい者の権利擁護支援と成年後見	事業者が利用者の人権と尊厳を大切にし、より良いサービスを提供していくため、認知症、知的障がい、精神障がい等で判断能力が不十分な方の自己決定の尊重や残存能力の活用等について理解を深める。	
		100	12月	<共同開催> 障害者関連施設と福祉施設、事業者の役割（検討中）		
	福祉サービスの倫理と基本理念	一般職員 クラス	100	5月	利用者の尊厳 ～利用者の心に寄り添う介護を目指して～	福祉サービスが利用者自らの選択と契約による利用制度に移行し、サービスの基本理念には「個人の尊厳」が強調され、改めてサービス提供事業者における利用者視点を重視することが求められている。そこで、利用者の尊厳を保持し、利用者本位の支援とは何なのかについて考え、実践に繋げることを学ぶ。
			100	5月	認知症の人の理解と支援	認知症高齢者と接するには、認知症を理解することが重要で、認知症の症状には中核症状とそれに伴って現れる行動・心理症状がある。後者の症状は、周囲の関わりやケアの影響が大きいため、対応の仕方により改善されることもある。なぜその症状が起こるのかを考え、これからの認知症ケアのあり方について考える。
			100	6月	福祉・介護サービスの理念とそれに携わる者の倫理 利用者本位の福祉・介護サービス	高い倫理性に支えられた、利用者本位のサービスを提供していくために、福祉・介護サービスの理念を基本的に理解するとともに、福祉・介護サービスに携わることの社会的意義と役割、そして従事者に求められる高い倫理性について学ぶ。
			100	6月	認知症高齢者への虐待を防止するために	高齢者虐待の多くは、認知症高齢者に対して行われることも少なくなく、多くは認知症の方への理解不足から起こりうるものである。虐待を未然に防ぐ認知症高齢者の支援のあり方について考える。
			100	6月	認知症の医療の基本的知識	増加する認知症高齢者のケアが社会的課題となっているが、本研修では、認知症の原因や症状、治療方法、効果的な新薬など、認知症についての基本的知識を深め、よりよいケアのあり方について考える。
			100	7月	<共同開催> 様々な人権問題について考える 虐待問題と人権 ～虐待予防のための職場環境づくりの実践～（検討中）	福祉施設等の現場において、人権尊重の安全・安心な環境のもと、利用者にサービスを提供していくには、虐待防止に関する取り組みは必要不可欠である。しかしながら、昨今、福祉の人材確保や養成が困難になってきている中、サービス提供やケア体制のあり方、虐待への影響などについての危機がもたれる。虐待が起こる前に事業所全体としてできることは何か。虐待を起こさない職場の環境をどう整備していくのか実際の取り組みから学ぶ。
			100	7月	医療と介護の連携を進める上での介護従事者に必要な医療の知識	医療ニーズの高い要介護者や重度な要介護者が増加し、介護と医療が連携し地域で支えていく、医療と介護の連携が重要となっている。そこで、連携していく上でポイントとして、介護従事者が医学的な知識を有することが求められる。医療関係者と共通の理解のもと、ケアをすすめていくために必要な医学的知識について学ぶ。
			100	7月	レビー小体型認知症について	認知症をきたす疾患で最も多いのがアルツハイマー型認知症であるが、脳血管性、レビー小体型、前頭側頭型も比較的多いとされている。レビー小体型とは・・・本研修では、レビー小体型認知症の病態の特徴や治療等について学ぶ。
100			7月	通所介護計画書の作成のポイント	通所介護計画書は利用者一人ひとりに対して、心身の状況、本人のニーズ等を踏まえ、機能訓練等の目標、当該目標を達成するために、具体的なサービスの内容を記載しなければならないものである。利用者に応じた適切なサービスが行われるためにもスキルを身につけ、作成のポイントについて学ぶ。	
100			7月	介護職に必要なセルフマネジメント力 ～自分自身を理解し、人と関わる力を身につける～	介護職に必要なスキルには、対人援助力、コミュニケーション力、マネジメント、コーチング力と様々であるが、自分自身を理解し、周りの人と関わっていく力を養うと、ストレスが減り、メンタル面の強さに繋がる。モチベーションを上げ、自信を持って仕事を行うためにセルフマネジメント力について学ぶ。	
100			8月	高齢者の権利擁護と成年後見 ハンセン病問題への理解と人権 高齢者の権利擁護と成年後見	今なお、差別や偏見に苦しんでいるハンセン病回復者の被害回復を基本理念とした「ハンセン病問題解決の促進に関する法律」が施行されたが、社会復帰者は高齢化が進んでおり、改めて医療、福祉、介護サービスにおけるハンセン病回復者の支援のあり方について理解を深める。 人権についての理解を深めながら、認知症などのために判断能力が不十分な方の自己決定の尊重や残存能力の活用等の理念に基づいて、財産管理や身上監護を通して本人の保護を図ろうとする成年後見制度に対する理解を深める。	
100			8月	若年性認知症の理解と地域支援のあり方	65歳未満で発症する認知症を若年性認知症と言い、働き盛りの40代で発症する人が増えてきている。若年性認知症は、本人だけでなく、家族への生活の影響が大きく、支援も十分でないため、社会的にも大きな問題である。若年性認知症を理解するとともに、地域社会ができる支援のあり方について考える。	
100			8月	訪問介護計画書の作成、書き方のポイント	計画書は、利用者の変化を捉え、利用者本位のよりニーズに合った適切なサービスを提供していく上で重要であるばかりでなく、ケアの内容・方法を事業所内で共有し事業所全体におけるスキルの向上、ケアの均質化を図る上で欠かせない重要な書類である。本研修では、アセスメントから計画書作成のプロセスと書き方のポイントについて学ぶ。	
50			9月	様々な人権問題について考える 福祉・介護サービス従事者に求められる人権の視点 人権を重視した人間関係づくり	人権尊重を基本とした福祉サービスの実践を行うには、様々な人権問題に関する正しい知識と理解が求められる。本研修では、人権問題について幅広く理解を深め、介護・福祉サービスに携わる者としての支援のあり方について考える。 多様な課題を抱える利用者が「人」として当たり前に安心して生きがいを感じながら暮らしていくことを支えるために、福祉従事者が持つべき豊かな人権感覚について考える。	
50			9月	障がい者差別や虐待を防止するために 障害者差別解消法の基本的理解 障がい者虐待事例から考える支援のあり方	平成25年6月に制定された「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)について、基本的な理解を深め、差別の解消を推進し、それによりすべての国民が、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に資するよう、従事者としての役割・責務等について考える。 障がい者施設などにおける虐待事例を踏まえながら、虐待にいたるメカニズムを考えながら、虐待を未然に防ぐために支援のあり方等について考える。	
100			9月	介護支援専門員に求められるチームマネジメントの手法	重度な要介護状態になっても、日常生活圏域に必要な医療、介護サービス等を一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が進められており、その実現のためには、医療と介護の連携、チームケアが重要となる。ケアマネジャーは、支援者間で情報を共有してケアを行う上で重要な役割を担っている。利用者支援のチームアプローチに対し、必要な知識や技術を学ぶ。	
100			10月	高齢者虐待防止法の理解と虐待防止に対する基本的視点	平成18年から施行の「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律」(高齢者虐待防止法)について、基本的な理解を深めるとともに、虐待への対処と防止、従事者に求められる役割・責務について考える。	
100			10月	介護職に求められるコミュニケーション力	対人援助職である介護サービス従事者は、より良いケアを行うために利用者やその家族と信頼関係を築き、真の想いやニーズに添ったサービスを提供するためにもコミュニケーション力を磨くことが大切である。対人援助職に必要なコミュニケーションスキルを学ぶ。	
100	11月	地域在宅医療と介護・福祉サービスとの連携の実際	重度な要介護状態になっても、日常生活圏域に必要な医療、介護サービス等を一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築が進められており、その実現のためには、医療と介護の連携、チームケアが重要となる。利用者を支える上でのスムーズな連携体制を取るには、何が必要か等、実際の現場の声から学ぶ。			
50	11月	障がい者が地域で暮らすために 障がい者が地域で支えるには 当事者が地域で暮らすためには	障害者総合支援法をはじめとする障がい者施策への理解を深め、障がい者の自立や地域生活の支援について学ぶとともに、障がい者の社会参加、就労支援等、障がい者が地域で安心して暮らしていくために何を求めているのかを考え、また何が必要なのかについて、精神障がい当事者からの話を通して考える。			
100	12月	地域ケア会議の機能を活かした地域包括ケアシステムの実現	地域包括支援センターは、多職種協働による利用者のケアマネジメント支援のため、必要に応じた最適な手法や地域課題を共有するために地域ケア会議を開くことになっている。また、需要に見合ったサービス資源の開発を行うとともに、保健、医療、福祉の専門機関や住民組織、民間企業等によるネットワークを連結させ、地域包括ケアの社会基盤整備を行う役割を担っている。このような仕組みを理解し、これからの地域包括ケアシステムについて考える。			
50	1月	障がい者の権利擁護と成年後見 障がい者の権利擁護と成年後見 障がい者の自己決定の尊重	障がい者に対する理解を深め、障がい者の自立や地域生活の支援について学ぶとともに、知的障がい、精神障がいなどのために判断能力が不十分な方の自己決定の尊重や残存能力の活用等の理念に基づいて、財産管理や身上監護を通して本人の保護を図ろうとする成年後見制度に対する理解を深める。			
100	1月	高齢者虐待の現状と虐待事例から考える支援のあり方	虐待は人権を著しく侵害する行為であり、事業者には利用者の権利擁護に努めることが求められている。しかし、虐待にいたる要因は様々であり、問題を多角的に捉え、広い視野から虐待に対応していくことが必要である。本研修では、虐待にいたるメカニズムを考えながら虐待を未然に防ぐための支援のあり方について考える。			
100	2月	認知症の人と家族への支援 ～家族の求めている支援とは何か～	認知症高齢者を介護する家族に対する理解を深め、福祉・介護サービス事業者に期待される家族支援の役割と課題について考える。			

※ 網掛けのテーマは、人権に関わる研修

科目	対象 職務段階	募集人員	実施 時期	研修テーマ	概 要
リスクマネジメント	管理者	100	8月	労働災害認定の理解 ～労災をめぐる様々な誤解とトラブル回避～	労働災害についての正しい理解と知識を深めるとともに、様々なトラブルを回避するために、事業所として知っておくべき知識や事故が起こった時の対処など、事例を通して学ぶ。
		100	8月	大規模災害におけるリスクマネジメント ～介護事業所に求められる災害対策の基本～	阪神淡路大震災、東日本大震災などの大規模災害が後を絶たず、社会全体で災害時の取組みや対策強化が行われている。日頃から災害についてのリスクを考え、介護事業所としての役割、何をすべきかを考える。
		100	9月	事業所におけるリスクマネジメント ～クレーム・事故対応から学ぶリスクマネジメント～	事業におけるリスクは幅広い範囲において想定されるが、特に介護事故は最も想定されるリスクであり、その影響は多大なものがある。介護事故に関する判例や事例をもとに、介護事故における事業者・職員の注意義務や責任について理解し、サービス提供過程における事故の未然防止や、万一にも発生した場合の対応、改善に繋げていくための取り組み方法等について学ぶ。
		100	11月	介護事業所における個人情報の適切な取り扱い	個人情報保護法が施行されて数年経ち、情報保護に対する意識は高い状況にある。しかし、地域福祉の様々な場面で、個人情報保護が壁になっているという声がかかる。社会的孤立の問題の中で、適正な管理、開示等、しっかりとしたルールのもと、取り扱いができる体制が必要である。個人情報の大切さを理解した上で、地域福祉の支援を進めるために、適切な情報の収集と共有化について学ぶ。
リスクマネジメント	一般職員 クラス	300	6月	<共同開催> 感染症・食中毒予防対策講習会	感染症の発生を未然に防止し、また不幸にして発生した場合にその影響を最小限に止めることは、利用者に安全・安心な福祉サービスを提供するために不可欠な取り組みである。食中毒の発生が懸念される季節を前に、その原因や対策、防止法等について学ぶ。
		300	6月		
		100	10月	通所介護・デイサービスにおけるリスクマネジメント	デイサービスにおけるリスクマネジメントの特徴は、限られた空間、限られた時間での支援となるため、利用者の心身の状態等の把握や変化が捉えづらい。また、日々の変化が流動的であることで、職員間の情報の共有、周知徹底を図ること、日頃からリスクに対する意識を持つことが大切である。もし、事故が起きたときにはどう対処すべきかなど、事故やヒヤリハットの事例を通して、危機管理に対する取組みについて学ぶ。
		300	11月	<共同開催> 感染症予防対策講習会	感染症の発生を未然に防止し、また不幸にして発生した場合にその影響を最小限に止めることは、利用者に安全・安心な福祉サービスを提供するために不可欠な取り組みである。インフルエンザの流行期を迎えるにあたり、その注意喚起を行うとともに衛生管理等の取り組み方法について学ぶ。
		300	11月		
		100	1月	介護現場でのクレーム・苦情に対してどう向き合うか	介護サービスを利用する者の権利意識が高く、事業者への苦情やクレームは絶えることなく、適切な対応が求められている。日頃からクレームに対する対策や対応などの準備をしっかりと行っていないとすぐに対応することは出来ず、問題が大きくなったり、こじれる原因になり兼ねない。本研修では、クレームや苦情対応の基本や適切に対応するための心構え、ポイントを学ぶ。
		100	1月	福祉サービスの苦情解決の取組み ～福祉サービスの質の向上をめざして～	様々な場面で発生する苦情に対してどのように対応すればよいのかを具体的に学ぶとともに、苦情を未然に防ぐために日頃から講じておくべき取組みについて学ぶ。
		100	2月	福祉・介護サービス従事者に求められる法令遵守	福祉・介護サービスの財源は、公費(税、保険料)によって賄われる公益性の高い制度であり、事業者にはより高い水準の法令遵守と事業運営の透明性の確保が求められる。本研修では、法令遵守の重要性を理解し、取り組むべき事柄や心構え等について学ぶ。
組織運営管理	管理者	100	5月	介護サービス事業所の管理者に求められる役割とリーダーシップ	管理者の役割として重要なことは、職場全体の方針や目的を理解し、それを具体化するための方策を検討、実施し、チームをまとめていくリーダーシップを発揮できる力が求められる。管理者としての役割を理解し、リーダーシップを発揮できる方法を学ぶ。
		100	6月	職場におけるメンタルヘルスクエア対策 ～心身の健康管理を大切に組織づくり～	利用者に対し質の高い満足していただけるサービスを提供するためには、従業員が健康で生き生きと働いてもらうことが何より重要であり、そのための働きやすい環境づくりが求められている。本研修では、職場におけるメンタルヘルスクエア対策の基本的なポイントと手法について学ぶ。
		100	6月	外国人労働者の雇用と人材の育成	高齢化の急速な進展、介護需要が増えるのに対し、介護の担い手の減少、人材不足は重大な問題である。そのような状況の中、外国人労働者の受け入れについての検討、教育がされ、介護分野における外国人労働者の受け入れが進められてきている。しかし、まだまだ多くの問題、課題を抱えている。利用者一人ひとりに応じた質の高いサービスを提供するために、外国人介護職の育成のための知識や理解を深め、これからの雇用について考える。
		100	7月	職場定着助成金の活用 ～人材育成と定着、就労環境整備のために～	介護人材の育成と定着に活用できる助成金についてを学び、これからの事業所経営に上手く活用しながら、職員のキャリアアップにつなげる知識を学ぶ。
		100	12月	介護事業におけるコンプライアンス経営 ～業務管理体制の整備～	法令遵守と事業運営の透明性の確保に向けた業務管理体制の整備、法令遵守のために事業所として取り組むべき事柄、管理者として必要な心構えを意識し、コンプライアンス経営の実践について学ぶ。
		100	3月	より良いサービス提供における人と組織の育成	事業所が利用者のニーズに応え、より良いサービス提供を行っていくには、経験豊かで信頼のおける人材を確保することも一つの大きな要素であり、経営者や管理者は、組織としての方針や目的を明確に示し、共通の目標を持ったスタッフを育成していくことが重要となる。本研修では、人材の確保、定着する組織づくりのために必要な管理者としての役割や考え方、方法を学ぶ。